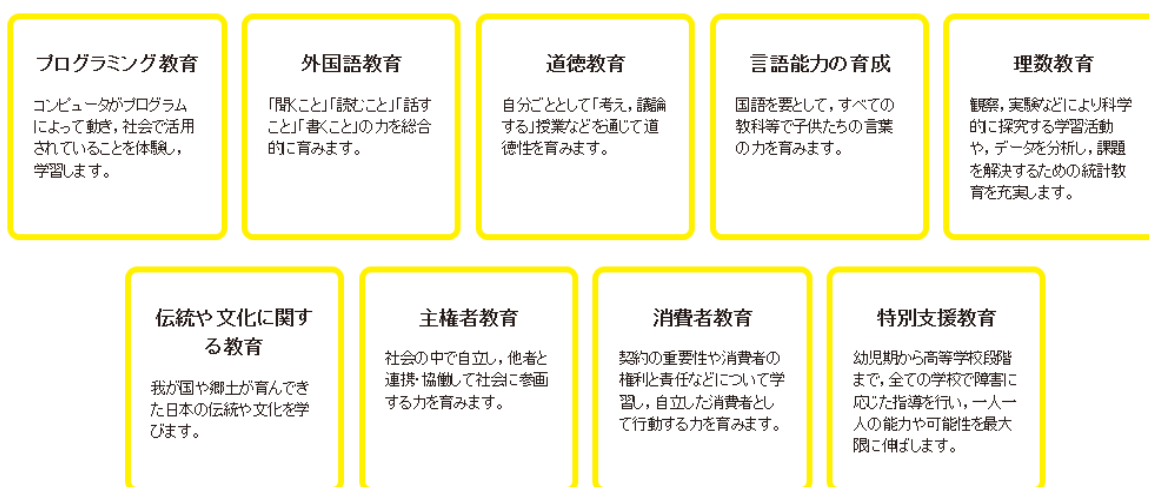


2020年度、児童の学びが進化します！新しい学習指導要領、スタート！！ 久保小学校でも社会の変化を見据えて教育活動を展開していきます！

グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子ども達には自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学校での学びを通じ、子ども達がそのような「生きる力」を育むために、学習指導要領が約10年ぶりに改訂されました。



小学校中学年から「外国語教育」を導入、小学校における「プログラミング教育」を必修化するなど社会の変化を見据えた新たな学びへと進化します。



新しい学習指導要領で育む資質・能力とは？

新しい学習指導要領では、教育課程全体や各教科などの学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育んでいくことを目指します。



「**知識及び技能**」は、個別の事実的な知識のみでなく、習得した個別の知識を既存の知識と関連付けて深く理解し、社会の中で生きて働く知識となるものも含むものです。そして、その「知識及び技能」をどう使うかという、未知の状況にも対応できる「**思考力、判断力、表現力など**」、学んだことを社会や人生に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性など**」を含めた「資質・能力」の3つの柱を、一体的に育成します。

保護者の皆様へ

子ども達に必要な資質・能力を育むためには、学校の授業だけではなく、家庭や地域の皆様の理解と協力が欠かせません。学校で学んだことを日常生活で活用したり、家庭や地域での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。是非、学習についてお子様と話したり、一緒に考えたりしてみてください。よろしくお願いいたします。